

ステークホルダーの皆さまへ

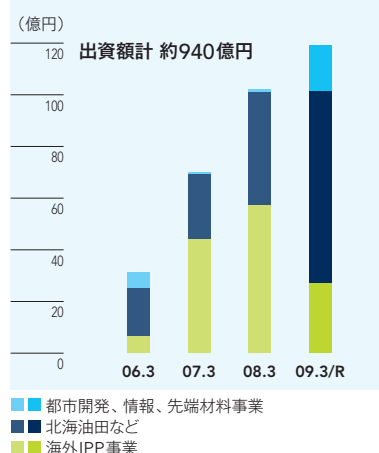


2009年3月期経営成績について

2009年3月期は、原油価格の高騰や経済情勢の変化など、事業環境の大きな変化はありましたが、2007年3月期から2009年3月期までの中期経営計画「Design 2008」の最終年度として、「Design 2008」で掲げたマルチエネルギー事業の基盤作りや、グループ総合力強化のための投資を実行し、大きな利益貢献を得られるまでに成長するなど、計画していた事業の拡大や経営効率化などの取り組みは着実に進めることができました。

収支については、2009年3月期は、2008年3月期に比べてガス販売量は減少したものの、LNG価格の上昇に伴い、原料費調整制度に基づいてガスの販売単価が高めに推移したことなどにより、売上高は886億円増(+7.2%)の1兆3,267億円となりました。経常利益は、2008年3月期に比べて連結子会社や持分法適用関連会社の増益

出資案件の利益貢献



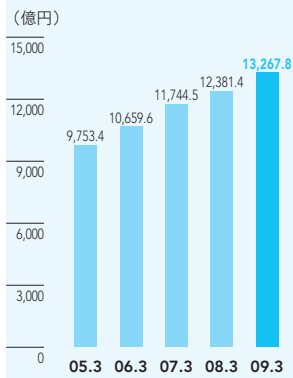
貢献があったものの、大阪ガス個別でのガス販売量減少の影響などによる減益により、113億円減(△14.9%)の645億円となりました。また、当期純利益は、2008年3月期に比べて42億円減(△10.5%)の360億円となりました。

(単位: 億円)

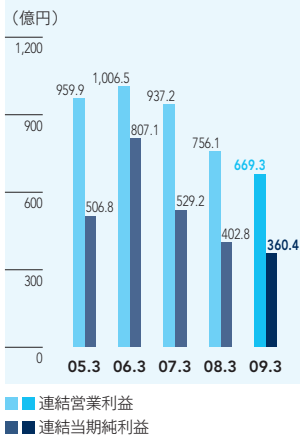
	連結(A)	対2008年3月期比較		個別(B)	連単倍率(A)/(B)
		増減値	増減率(%)		
売上高	13,267	+886	+7.2	9,718	1.37
売上原価	9,219	+792	+9.4	6,568	1.40
供給販売費及び一般管理費	3,379	+180	+5.6	2,771	1.22
営業利益	669	-86	-11.5	378	1.77
経常利益	645	-113	-14.9	378	1.71
当期純利益	360	-42	-10.5	240	1.50

連結	2008年3月期	2009年3月期
株主付加価値(SVA)(億円)	125	51
1株当たり当期純利益(EPS)(円/株)	18.27	16.72
自己資本利益率(ROE)(%)	6.1	5.7
総資産利益率(ROA)(%)	2.8	2.5
フリーキャッシュ・フロー(FCF)(億円)	512	562

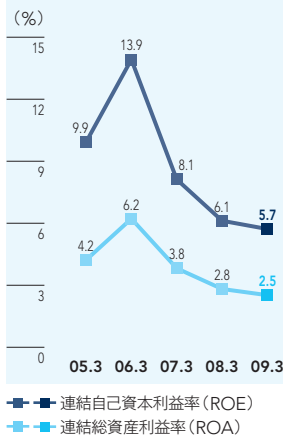
連結売上高の推移



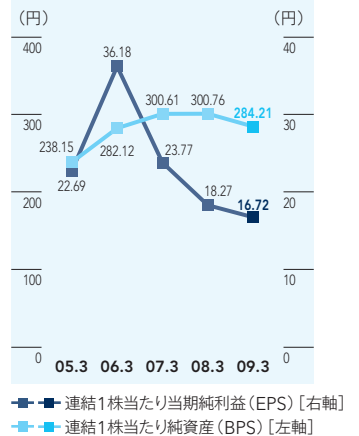
連結営業利益と連結当期純利益の推移



連結ROE及び連結ROA



連結1株当たり当期純利益(EPS)及び連結1株当たり純資産(BPS)



会社の経営の基本方針及び中長期的な経営戦略

当社グループは、お客さま価値の最大化を第一に、株主さま、社会、従業員など全てのステークホルダーの価値をともに高める、グループ経営理念「価値創造の経営」に基づき、2020年までを見据えた長期経営ビジョン及びその実現に向けた2010年3月期から2014年3月期までの中期経営計画「Field of Dreams(フィールド・オブ・

ドリームズ) 2020」を、2009年3月に策定いたしました。「国内エネルギーサービス事業」「海外エネルギーバリューチェーン事業」「環境・非エネルギー事業」の3つの領域それぞれを成長させることによって、グローバルなエネルギー・環境企業グループとして発展することを目指し、長期的に連結ROAを4%程度に、連結ROEを9%程度に高めてまいります。

まず、「国内エネルギーサービス事業」におきましては、万全の安定供給・保安・サービス体制を構築し、お客さまのニーズに対応したサービスメニューを充実させるなど、近畿圏の都市ガス事業の質を一層高めてまいります。さらに、近畿圏の都市ガス事業で培ったノウハウを活用し、天然ガス・電力・LPGなどを提供するマルチエネルギー事業を、他のエネルギー事業者との連携も図りながら、広域的に展開してまいります。

ガス田開発などの上流分野から、LNG基地・パイプライン・ガス供給・発電などの中下流分野に至る「海外エネルギーバリューチェーン事業」におきましては、現在権益を保有しているガス田などの上流プロジェクトの開発や、新規権益の取得を進めます。また、これまで取り組んできた海外IPP事業(卸供給)や天然ガスパイプライン事業を着実に運営するとともに、ガス供給事業も含めた新規案件も検討してまいります。

「環境・非エネルギー事業」におきましては、当社グループが保有する技術・ノウハウのさらなる活用や、他事業者との連携などにより、地球環境負荷の低減に資する新たな環境・省エネルギー事業の開発を検討してまいります。また、エネルギー以外の事業におきましても、都市開発、情報、先端材料などの分野を中心に、お客さまのご要望に沿ったより良い商品・サービスのご提供を通じて、お客さまの快適な暮らしとビジネスの発展に貢献し、連結利益の拡大を追求してまいります。

2010年3月期の経営方針

2010年3月期は、長期経営ビジョン・中期経営計画「Field of Dreams 2020」の実現に向けた第一歩を着実に踏み出すため、国内エネルギーサービス事業では、マーケティング活動の強化や保安水準の一層に向上に取り組むとともに、電力事業では、泉北天然ガス発電所の運転開始により、本格的な成長を図ってまいります。また、海外

エネルギーバリューチェーン事業の進展、環境・非エネルギー事業の拡大・開拓のために、2009年3月期を上回る投資を計画しており、持続的成長に向けた事業基盤の強化に努めてまいります。

資本・配当政策

当社は従来から積極的な営業拡大と経営効率化を進め、それによって得られた利益を、事業拡大と財務体質強化のための内部留保と、安定した利益配当に充ててまいりました。株主の皆さまへの利益配当の実施にあたっては、これからも中間、期末での安定配当の継続を基本に据えながら、業績や今後の経営計画、他の利益還元策などを総合的に勘案して決定してまいります。配当性向は、大阪ガス個別の剰余金分配可能額の範囲内で、短期的な利益変動要因を除いて連結配当性向30%以上を目指します。2009年3月期は3.5円の間配当を含め、1株につき年間7円の配当を実施いたしました。2010年3月期も、2009年3月期に引き続いて1株につき年間7円の配当としたいと考えています。

最後に

当社グループは、さまざまな課題に適切に対処し、グループ経営理念である「価値創造の経営」を実践してまいります。ブランドスローガン「Design Your Energy—夢ある明日(あした)を」のもと、社員一人ひとりの業務や行動の質を高め、進化し続ける大阪ガスグループを目指して不断の努力を続けていく所存であります。

皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

尾崎 裕

代表取締役社長 尾崎 裕